

たかひこ通信



皆さんのご
意見・ご要望
を電話・FaX
・メールでお
寄せ下さい。

部内資料 たかひこ通信 No. 77
2017/9/27 〒399-8601 長野県北安曇
郡池田町大字池田3089-4
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093
mail: peacea@peach.plala.or.jp
http://web-ariakesan.com/

議会視察で 食育の町 青森県鶴田町に 行って来ました

池田町での「食育」を進めようと議会「食育推進特別委員会」委員5人で、8月29日に青森県鶴田町へ視察に行ってきました。

鶴田町は、岩手山の麓にある町（人口約13,000人）で、米作・リンゴ栽培など農業中心の町です。鶴田町の男性平均寿命が74.5歳と短いこと、子どもの1割強が朝食をとらず肥満や身体不調を起こすなど食生活が乱れていることに鶴田町は危機感を抱き、平成16年3月、食習慣の改善を目指し、「**朝ご飯条例**」を制定しました。

「家族そろって早寝・早起き・朝ごはん」の食生活の習慣化にと全町上げて取り組み、学校給食を米飯とし、小学校全学年で料理教室を開催し、子どもが自分で朝ごはん作れるように取り組みを行いました。

当初、親世代に「町は朝ご飯を強制するのか」、「共働きで時間に余裕がない」など、なかなか理解が得られませんでした。しかし



写真：鶴田町の津軽富士見湖にかかる日本一長い木橋（全町300m）である「鶴の舞橋」と岩木山（津軽富士）

町・食生活改善推進協議会の粘り強い取り組みにより、今では家庭・学校・地域が連携し、食育に取り組んでいます。条例制定後10年で、男性平均寿命が77.0歳に伸び肥満児の低下(16.2%⇒11.7%)、朝食を欠食する子どもの低下(11.3%⇒8.5%)、1日当たり塩分摂取量の低下(13.2g⇒12.6g)に成果が出ています。

【感想】取り組む目標を毎年明確にし、町長を推進委員長、町議会議長・農協理事・商工会長を副推進委員長にすえ、議会、学校、学校PTA、保育所、保護者会など町の全団体を巻き込む町民運動は素晴らしいと思いました。

一般会計補正予算の目玉

◎わで町ホール跡を駐車場と
する事業 1,200万円
駐車場を47台を作る。地面の
アスファルト化はしない。
財源：一般財源1200万円

◎移住定住推進事業 806万円
○移住定住を進める助成制度
を10月1日から施行する。

【移住定住助成制度の概要】

①住宅取得助成：移住者が町
で新築する（1000万円以上）
場合及び500万円以上の中古住
宅を購入する場合に支給する
（上記の事項は町居住者にも
適用される）。

助成額は条件により異なる。
例：町外からの45歳以下の移
住者で子どもが2人いる場
合は、最高45万円の助成

②改修補助：町の空家バンク
に登録された家に移住のため

9月議会の概要

9月町議会は9月7日から9
月21日まで開かれました。そ
のポイントを紹介します。詳
しくは後日、池田民報でお知
らせします。

～～～朗報！！～～～
来年8月から「0～18歳の
医療費は窓口無料化となる
」議案を可決（1レセプト
500円は続行）

改修する場合は費用の1/2を助
成する（最高50万円まで）。

③方付け補助：町の空家バンク
に登録された家を移住のため片
付ける場合は費用の1/2を助成
する（最高50万円まで）。

④取り壊し補助：町の空家バン
クに登録した家を購入者が壊す
場合、50万円を助成する。

○豊町教員住宅2棟を移住者の
お試し住宅に改修する。

私の一般質問の概要

1. 高瀬川の氾濫防止対策について
(1)高瀬川の氾濫防止対策として次の
事項を町から長野県へ要望を。

①河川内に堆積した土砂の排出を。
②河川内立木の除去を。
③内鎌地区霞提の氾濫防止対策につ
いて検討し、対策を。

④想定最大規模降水量（396mm/2日
間）での高瀬川浸水想定図の早期
作成を。（現行は計画規模降水量
246mm/2日間での浸水想定図）

答：いずれも県へ要望していく。

(2)大雨災害に向けて町で作成可能な
の事前防災行動計画（タイムライ
ン）の早期策定を。

答：現在、研究・検討している。

(3)町と大町ダムとの連絡体制の更なる
充実を図るため文書での確認を。

答：何らかの形で確認できるよう考
えていきたい。

2. 社会資本総合整備計画について
緑地公園整備事業、公民館跡地ミニ
公園整備事業、文化財管理施設整備
事業は町民の意見を聴いて計画を。

答：町民の意見を聴く会を行う。

今月の一首

”曇天の 空突き抜けて 秋祭り
自慢の山車が 町ねり歩く”